



第 251 回例会

日 時:平成 28 年 9 月 8 日 (木) 12 : 30～14:40

場 所:八王子エルシィ

出席者:61 名 出席率 93,8%

(会員総数 68 名 欠席 4 名 休会 3 名)

会食とハッピーコイン披露

宮城例会委員長の進行で会食に入り、武田副会長からハッピーコイン 19 件の披露があった。

(4～5 ページに記載)

1. 開 会 宮城例会委員長

9 月例会の開催を告げ、配布資料を確認する。

2. 挨拶 岩島 寛会長



皆さん、今日は。

昨日は台風 13 号が来るので例会が開けないかもと、やきもきしましたが、皆様の心掛けが良く、台風は温帯性低気圧になり、今日はこうして無事に開くことが出来ました。ただ、大雨の心配は残っておりますので、お帰りは十分気を付けて下さい。

9 月 5 日の全日本プロバス協議会・東日本ブロック交流会は 108 名のプロビアンが一同に会し、楽しく成功裡に終えることが出来ました。

これも偏に、皆様の温かいご協力の賜物であり、本当に有難うございました。

財務面でも、締めて見ますと、この事業単独の独立採算で賄うことができ、我がプロバスからの出費はほぼゼロという、何とも素晴らしい決算となりました。いろいろな形の協力があったからであります。

さて、本日は我が八王子市出身で、皆さんよく御存じのオペラ歌手、田中三佐代様の卓話「オペラ歌手・よもやま話」を伺うことになっております。どんなお話をして下さるのか、とても楽しみです。

11 月の野外研修に向けて、研修委員会の皆さんは着々と準備をして下さっております。

当日は多くの方々の参加をお待ちしております。また、地域奉仕委員会の皆さんも生涯学習サロンの開催準備をやはり着々と進めて下さっております。この準備がスムーズに楽しく進みますように皆さんの協力をお願いいたします。

それから、第 7 回全日本プロバス全国総会が 11 月 29 日(火)北九州市小倉ホテルで開催されますが、遠い所でもあり折角参加するのであれば、有効に充実した旅にしようとして立川全日本協議会副会長は、楽しそうなツアーを計画して下さいました。一人でも多くの参加をお待ちしております。申込みは本日の例会終了までで打ち切るとのことですので、よろしくお願いします。

以上をもちまして挨拶とさせていただきます。

3. パースデーカード贈呈

9 月生まれの会員に、池田会員お手製のパースデーカードが会長から贈られました。



左から岡田、岡部、小林貞、野口、馬場、吉田の各会員 (敬称略)

4. 卓話

テーマ『オペラ歌手・よもやま話』

話し手の紹介 立川会員

今日ご紹介します田中三佐代さんは八王子生まれの由緒ある家柄で、田中さんとは20代前半からお付き合いをしています。音大卒業後、八王子フィルハーモニー管弦楽団でフルートを担当していましたが、一念発起して東京芸大に入り直し、声楽を始め、めきめき才能を発揮、現在はオペラのソプラノ歌手としてご活躍です。ドイツから帰国され、時差ぼけが取れたたばかりのようですが、素敵な彼女の「よもやま話」をお楽しみいただければと思います。

お話し

ソプラノ歌手 田中三佐代氏



いつもは歌っている私を見ていただいておりますが、今日はお話を聞いていただきます。

私はソプラノ歌手ですが、お聞きのように話し声はかなり低くて、時には男性と間違えられます。

通常女性のソプラノは裏声なのです。男性の裏声としてはカウンターテナーがありますが、テノール、バリトン、バスは地声に響きを持たせたものです。

長年自分の地声にコンプレックスを抱いていましたが、ヨーロッパのソプラノ歌手の皆さんが野太い声で堂々と話しているのを聞いて今は気にならなくなりました。

オペラは歌あり芝居ありの歌劇、4時間に及ぶ長いものもあり、そのストーリーと共に時代背景など内容をよく理解しなければなりません。稽古はもちろんそういう仕込みにも時間をかけています。また舞台の裏には大道具・小道具・衣装などたくさんのスタッフがいます。

一つの衣裳をその時々歌手の体格に合わせて広げたり縮めたりはお手のもの。それでもダブルキャストの時の衣裳担当は大忙しです。

客席からは見えませんが舞台先端のピットでは熟練のプロンプターが舞台上の歌手に指示を飛ばしています。これなくしては舞台は進みません。

今日は私の見聞や体験から、オペラの裏話を思い

付くままにお話します。

笑える失敗談としてはモーツァルト「フィガロの結婚」第2幕で、鍵がかかって開かないはずのドアが開いてしまったり、プッチーニ「トスカ」の最終場面、嘆きのトスカが城壁から身を投げて死んだはずが、安全のために後ろに置かれていたトランポリンで弾んで舞台に飛び出してきた、なんてことがあったそうです。

演出も現代的になってきて、モーツァルト「魔笛」夜の女王の侍女の衣裳がバスタオルとヘアキャップで楽屋に見えた方がびっくり。ビニール製の衣裳の時はあまりの暑さに全身に保冷材を貼って、おまけにそれを舞台に落として大慌て。

芝居の流れで、そっくり返ったまま、寝たまま歌うという苦行もありますが、ひたすら稽古を重ねてクリアしています。舞台直前に足指を骨折した時は、ギブスが目立たないよう衣装の足元や演出を変えてしのぎました。

歌手の体格について質問がありました。今は視覚的評価が大事にされますが、歌い手にとって身体は楽器、無駄なお肉はいりませんが声を支え、よく共鳴するしっかりした身体は必要だと思います。

ではここでみなさんと一緒に「夕焼けこやけ」を歌って終わりに致します。

5. 幹事報告 飯田幹事

① 田中三佐代さまの卓話、大変面白く拝聴しました。ありがとうございました。

② (株)びおら様のご協力のもとプロバスクラブの事務所としての住所の登録、専用電話の設置が完了しました。Tel・Fax番号は042-621-5552です。

これは転送電話であり転送先は幹事宅にしてあります。転送電話は近日中に工事を完了します。封筒の住所、電話を変更して作成しました。プロバス案内等リーフレット類も順次変更作成していきます。

③ いちよう祭りへの協力依頼の件

11月19日・20日午前・午後(各3名必要ですので12名)のご協力をお願いいたします。各委員会から最低1名以上の選出をお願いいたします。

いちよう祭りの佐々木研吾会長からの連絡がありますので、協力者が決まり次第登録をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

6. 委員会活動報告

(1) 例会委員会 宮城委員長

第 251 回例会の出席状況の報告

(2) 情報委員会 有泉委員長

「プロバスだより」250 号をお手元にお届けしました。今回の編集はベテランの河合会員によるものです。ご一読ください。

(3) 会員委員会 土井俊雄委員長

特にご報告することはございませんが、先月に引き続き打合せしたいことがありますので、例会が終わりましたらこの会場のD席にお集まりください。

(4) 研修委員会 池田委員長

今年度の野外研修の概要をお知らせします。今回の野外研修は小田原界隈の施設巡りです。

「神奈川県立生命の星・地球博物館」を見学します。自然災害の多い昨今、私たちの地球の成り立ちから現在まで豊富な展示資料を見ながら、改めて見て学び、考え、明日への備えにしたいものです。

「松永記念館」では、電力王にして近代三茶人の一人と言われる松永安左衛門の茶室や資料を見ます。「新装小田原城」は耐震工事が完了し、きれいになりました。元気な方は天守閣まで行かれてはいかがでしょうか。

圏央道開通のおかげで乗車時間も短くなりました。今回の研修は、野外例会も兼ねておこなわれることとなりますので是非ご参加ください。

10 月例会で参加費をお預かりします。

土井俊玄委員

出前講座の講師と講座内容の見直しをしています。該当する方はアンケート用紙にご記入ください。新しく入会されたみなさんのご参加を期待しています。

(5) 地域奉仕委員会 持田委員長

8 月の定例会で過去のサロンの実績やアンケート集計を参考にして 12 講座を選びました。

① 本日 9 月度の定例会ですべての講座を確定する予定です。分野別では政治・経済・社会が 3、趣味が 5、健康が 2、生活が 1、郷土が 1 の 12 講座です。

② サロンを進めるにあたり、創設当時の狙いである対談・談話形式を重んじて進めて行きたいと考えています。講師の方にもこのことを是非ご理解頂きまして成功させたいと思います。

③ 講座の担当を引き受けて頂ける会員及び外部の

皆さんには一部ご了解を頂き始めています。ありがとうございます。また、現在未決定の講座につきましては、今後担当を受けて頂くお願いをして参りますので、その節はよろしくご協力お願いします。

④ 野外サロンは候補地がたくさんありますが、その中から本日の定例会後 2~3 に絞り込み、9 月末には仮決定、10 月初旬下見、後半決定の予定です。

サロンの計画はほぼ予定通り進んでおります。

(6) 交流担当 立川委員(全日本プロバス協議会 第 1 回東日本ブロック交流会 実行委員長)

去る 9 月 5 日の東日本ブロック交流会は成功裡に終わりました。永井前年度、岩島今年度会長ならびに理事会の皆様にご理解を頂き開催をすることが出来ました。杉山元会長はじめ実行委員会のみなさま、特に飯田幹事を中心として女性陣の皆さま、そしてご参加頂きました皆様に心から感謝申し上げます。

旭川、五所川原、群馬前橋、埼玉浮き城など遠くから、また神奈川、多摩などの近隣と 11 クラブ、108 名の参加を頂きました。神戸から前幹事長も特別ゲストで参加も頂きました。

セレモニーに続きまして各クラブの活動報告は、初めてプロジェクターを使つてのDVDでの報告やお国自慢などがあり、特に五所川原の立ちねぶたは迫力満点でした。懇親会は和気あいあいと各クラブが各人銘々に打ち解けての交流でした。

最後に我がクラブのシニア・ダンディーズの演奏で、武長さんのフルートも加わり盛り上げて終了いたしました。皆さんの笑顔、笑顔で良い交流会になりました。ありがとうございました。

浅川理事

東日本ブロック交流会に大勢の方のご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。交流を深めてプロバス活動を広めて行こうという思いを、続けることが出来れば、50 年、100 年後には、全国にプロバスの旗が元気にはためているでしょう。

11 月の全日本プロバス協議会の総会のご案内を、先月の例会にお渡ししてありますが、参加される方は、私か立川会員にお知らせください。

(7) 八王子「宇宙の学校」 下山PJリーダー

①「宇宙の学校」支援の会を通して、皆様に多大のご支援をいただきました。改めて厚く御礼を申し上げます。おかげで今年の八王子「宇宙の学校」も順

調に予定通り実施できます。

② 8月は夏休みで、スクーリングはありませんでした。教育センターでの9月11日(日曜日)のスクーリングから、秋の部がスタートします。その為の推進会議を持って準備を進めてきました。

教育センターに遠慮なく見学に来ていただく事を希望します。

「宇宙の学校」報告 情報委員会 有泉裕子

第2日目の「宇宙の学校」は東京工科大学会場(91組参加)では夏休み前の7月3日「ペーパーズチロールで飛ぶものを作ろう」「熱気球を作ってうちあげよう」をテーマに開催。本部会場(74組参加)では9月11日「かさ袋ロケットを飛ばそう」「熱気球を作って打ち上げよう」のテーマで、さらに北高校会場(38組参加)では9月17日東京工科大学会場と



同じのテーマでスクーリングが行われました。今回は飛ぶもの作りで、後の打ち上げでは子供達はとても楽しそうに盛り上がりました。

特に工科大学会場での熱気球打ち上げでは、最後の一つが天井裏に入ってしまうハプニングもありました。

7. 同好会活動報告

フラダンス 根本会員

8月から2回練習の機会を持ち、楽しく健康的な時間となりました。会員6名と友人1名の計7名で始めています。練習は月2回、第1・第3水曜日の午前中(1時間半)です。練習会場は(株)びおらです。会員の奥様、ご家族の方々にもお声を掛けて頂き、賑やかで華やかな集いとしく、何卒ご協力をよろしくお願い致します。

8. その他

「いちょう祭り」実行委員会 会長 佐々木研吾 会員

11月19、20日の日程で開催される[いちょう祭り]について、プロバスの皆様へのご協力のお願いです。1つは案内・受付担当役員の依頼です。経験豊かなベテランの皆様の良い識が、無事故の運営には必要不可欠です。2つ目は通行手形(500円)の販売協力のお願いです。3つ目のお願いは「お出掛けいただきたい」ということ。会員の皆様の催しや出展もあります。是非見に来ていただきお楽しみください。

9. プロバス賛歌斉唱

10. 閉会 武田洋一郎 副会長



皆さん、例会ご出席、お疲れ様でした。新年度になって、3ヶ月、早いですね。

5日は東日本プロバスクラブ交流会でした。第1回、当クラブがホストクラブ。皆様のご協力で大成功でした。有

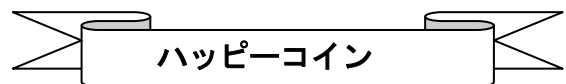
難うございます。

今日の卓話は「オペラよもやま話」。現役のソリストの舞台現場での裏話はとても面白く聞かせて頂きました。

さて、今日の言葉は「生きていくためには、耐える力がとても大事です」。これは、新老人の会 会長の日野原重明先生の9月8日の言葉です。毎日「スマートシニア全員集合!! (fb 新老人の会本部)」と言うFacebookに、その日の一言を投稿しています。☆希望を失わない☆

どんな逆境にあろうとも、決して希望を失わないことが大事です。心の中に希望の灯をともし、耐えて待っていれば、やがて大きな力が湧いて、必ず困難を乗り越えることができます。

それでは来月まで、さようなら。



◆全日本プロバス、東日本ブロック交流会が大成功を収めて無事終了いたしました。予算の儉約に努め

た結果の決算余剰金をハッピーコインと致します。

東日本ブロック交流会 実行委員会

◆第1回東日本交流会でのお役目をなんとか終えました。ホッとしています。 下山 邦夫

◆東日本ブロック交流会は11クラブ108名の参加で楽しく盛会に終わりました。クラブのたくさんの会員に参加頂き、又ご協力頂き大変ありがとうございました。 立川富美代

◆去る5日の全日本プロバス東日本ブロック交流会の成功嬉しく思います。これからも交流を続けましょう。 土井 俊玄

◆第1回東日本ブロック交流会の盛会終宴でおめでとうございます。 武田洋一郎

◆第1回東日本ブロック交流会の盛況を祝して！ 永井 昌平

◆東日本ブロック交流会。大勢の皆さんのご協力ありがとうございました。プロバスの輪を広げるため、これからも宜しくお願い致します。 浅川 文夫

◆第1回東日本ブロック交流会おめでとうございます。和やかな楽しい会でした。 有泉 裕子

◆全日本プロバス協議会 東日本ブロック交流会の第1回を我がプロバスクラブがホストを務め、楽しく有意義に持つことが出来、協力して下さった皆様に感謝します。 岩島 寛

◆9月5日第1回東日本プロバス交流会は盛況裡に開催できました事うれしく思います。皆さんお疲れ様でした。 飯田富美子

◆東日本ブロック交流会無事終了。ご協力に感謝。シニア・ダンディーズも頑張りました。

田中 信昭

◆長らくの欠席 申訳ありません。一寸体調を崩したことに加え、中高年の性、関係の集まりが一寸多くありました。 石田 雅巳

◆先月ひ孫がうまれました。吾輩もそろそろかな？ 今からかな？ 岡田 尚

◆雨もよし、風もよし、我が年もよし、そんな達観した心境になりたいものです。 古川 純香

◆池田さんのバースデーカード、今年ももらえた。健康でいられること、本当にハッピーです。

吉田 信夫

◆おかげ様で平和展終了しました。年々少しずつでも変化や進歩をと考え、子どもたちに伝えていかな

ければと思っています。ありがとうございました。

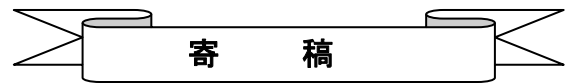
廣瀬 智子

◆今月7枚目の誕生日カードをいただきます。プロバスライフを楽しみ10枚目を目指します。

馬場 征彦

◆8日間の船の旅で1kg体重増えて帰ってきました。これから減量致します。 野口 浩平

◆運転席で、右肩あたりのシートベルトを左手で探っていると左肩に激痛が走った。思わず「40肩だ！痛い！」って言ったら助手席の家内がすかさず「80肩です！」って言った。今日池田さんの素敵なバースデーカードに元気をもらって、医者には行かないことにしよう！ 岡部 洽



夢の旅

八木 啓充



沢木耕太郎の「夢の旅」というエッセーを読んだ。

“ある時期まで日本では、ハワイへの旅が「夢の旅」の代名詞になっていた。(中略)

いつだったか、偶然つけたテレビで、壁に貼った日本地図

に向かってダーツを投げ、突き刺さったところ取材に向かうという番組を放送していた。これぞ私にとっての「夢の旅」だと思った。(後略)”

私の所属している横浜の合唱団へ「合唱団にいがた」から、4月10日(日)「メサイア」の招待状が届いた。実は11月に新潟でジョイントコンサートをする相手の合唱団からの招待状である。

誰か希望者いますかとマネージャーが言ったのだが、わざわざ横浜から新潟くんだりまで聴きに行く物好きはいなかった。一瞬考えた。「新潟・・・地酒・コシヒカリ・温泉、それに満開？の桜・・・これだけ揃えば行かない訳にはいかない。新幹線代を払ってもペイするぞ」。早速手を挙げ2枚頂戴！と声を上げた。全員びっくりした視線を私に投げかけた。なんと物好きな！八木さんホントに新潟に聴きに行くの？

旅とは人生と同じだ。行ってみなければ分からないものだ。

私の一句～9月の句会から

河合 和郎

物思う秋、芸術の秋、そして俳句の秋。秋は俳句の材料が身の回りに一杯。皆さん、頑張っって楽しんでます。

さんま焼くレシピ男の腕まくり 田中 信昭

軽妙洒脱な俳諧味たっぷりな一句。秋刀魚を焼くレシピと男の腕まくりに皮肉と自虐が。

かなかなや居眠りの夫こくりとす 飯田富美子

穏やかで幸せな日常が偲ばれる佳句。夫を見守る妻の優しい眼。季語の幹旋もいい。

五輪終る徹夜の夏もまた終る 立川富美代

多くの人にとって、今年の夏はこれに尽きるのは。好ゲームの途中で寝るわけにはいかない。

すすき野や銀輪追ふて銀の波 馬場 征彦

すすき野に銀輪を光らせてサイクリング。それを追うように薄の穂波が銀色に揺れる。躍動の一句。

野に臥しつ逃避の日々を生きし夏 渋谷 文雄

敗戦直後の満州の逃避行を詠む。命がけの帰還も早や七十年余の彼方。俳句を詠める平穏が愛おしい。

露草や花の粧ひ露と消ゆ 山形 忠顯

露草は朝に花を開き、午後には萎んでしまう。花の盛りの儂さと露の儂さ、そして人の命もまた。

落蟬の骸弔らふ妻ありて 東山 榮

死んで転がる蟬をやさしく弔う妻の姿を詠んだ。改めて妻の優しい心根に共鳴しての一句。

曼珠沙華畦に浮き立つ棚田かな 矢島 一雄

最高点句。朱色に縁どられた棚田の光景が鮮やかに描かれた。写真家の視点。中七の措辞もいい。

秋立つ日風向きふつと変りたる 池田ときえ

たった一日違いで季節の変化を感じ取る。ちよつとした風の動きにも秋を。正に俳人の感性。

流星群ひかり飛び交う天の庭 河合 和郎

今や夏休みの一大イベントとして定着している8月のペルセウス座流星群の華麗なショーを詠む。

早速帰ってネットで温泉を探した。あったあった。阿賀野川沿いにある磐越西線「咲花温泉」。エメラルド色した硫黄泉でかけ流し。地酒は何にしようか楽しみだぞ。

表向きは、女房が7月30日「オリンパスホール」東京交響楽団の「メサイア」に出るので聴いておいた方がよいと誘い、本音は温泉と地酒とコシヒカリだ。

4月10日、新潟駅から文化会館へのタクシー。運ちゃんは「良い時に来ましたね。今年は例年より10日早く、今が桜の満開ですよ」。会館のある一帯は桜の名所で大賑わいであった。演奏は中々のもので流石地元一級の合唱団、満員の会場。前知事の平山征夫氏も団員である。オケではなくパイプオルガンの演奏だが聴きごたえはあった。

終演後、本数の少ない磐越西線へ急ぐ。宿に着くや女将が「お客さんいい時に来ましたね。今桜が満開ですよ」。開口一番である。着替えも早々にエメラルド色の湯に直行。夕食は輝くコシヒカリに、待望の地酒。やはり長岡の酒「吉乃川」がいいな。

驚いた事に、夜分遅くになり雪が降ってきたのに



はびっくり。なんでこの時期に？まあいいや雪見酒といこうと露天風呂で雪見酒としゃれた。

朝起きると一面の銀世界。宿近くの鉄道沿いの満開の桜と、雪とが混然とした風景は、二度とみる事が出来

ない風景である。女将も番頭さんも生まれて初めての事と驚いていた。

帰路、駅で電車を待っているとTVカメラを持ったクルーが来た。電車を待っていた客が「誰か有名人が来るんだな。」と話合っていたが、テレビのレポーターが私に歩み寄って来るではありませんか。マイクを差し出し「どちらからですか。この雪の温泉は如何でしたか・・・」それから2・3の質疑応答、カメラでばっちり。突然のTV出演になりました。TV局の名・番組名・放映日など、あえて聞かなかった。私が投げたダーツに相応しい出来事だった。

帰りの新幹線では「吉乃川」のカップ酒を飲みながら、こんな「夢の旅」を終えた。

編集後記 初めて担当した編集作業。卓話を録音テープから書き起こし、まだ半分・・・と挫けそうになっていたら原稿が届き安堵。先人のご苦勞が偲ばれた。 情報委員会・佐々木秀勝